

地球科学輻合ゼミナール

(2013年度 前期 第6回)のご案内

含水鉱物とスラブ内地震と 沈み込み帯の温度構造

小木曾 哲

京都大学大学院人間・環境学研究科

沈み込むスラブ内には、含水鉱物という形で水が含まれている。含水鉱物は、温度・圧力が上昇するとともに不安定となって分解し、水に富む流体をスラブ内に放出する。この水流体が地震を誘発しているという「脱水不安定説」が、スラブ内地震の発生機構として注目されている。もし「脱水不安定説」が正しいとすると、含水鉱物の安定条件とスラブ内地震の分布から、スラブ内部の温度分布を推定することが可能となる。今回は、脱水不安定説に基づいた沈み込み帯の温度構造について、島弧マグマ生成条件からの制約条件も含めて紹介する。

6月12日(水) 午後4:30～午後6:00

場所：理学研究科6号館 303号室